

【栃木県】 → 大田原市

現代に受け継がれてきた 昔ながらの農村生活を体験

農泊List
04

体験できること：田植え、稲刈り、うどの収穫、いちごの収穫、酪農など
受け入れ戸数：約140戸
問い合わせ先：大田原ツーリズム
<http://www.ohawaragt.co.jp>

本州では他に類を見ない、広々とした開放感あふれる田園地帯で自然を堪能できる。



農業体験では、季節を代表する野菜や果物の収穫を手伝う。



酪農を営む農家で牛の世話などの体験もできる。

見渡す限りの広大な平野に 美しい田園風景が広がる

栃木県北東部に位置する大田原市は、耕種農業や畜産業がさかんな田園地帯です。春から秋にかけての眺望は、美しいの一言。田植え前に田に水が入ると一面が湖のように光り輝き、夏には緑、秋には稲穂の黄金色へと変わります。



那珂川上流の黒羽エリアで、伝統的な漁法の「鮎やな」を見学できる。

また、市の中央を、鮎の漁獲量日本一の清流・那珂川が流れます。平坦な土地が広がる大田原市では、今や少なくなった、親・子・孫の三代で営む専業農家がみられます。築100年以上の建物も多く残り、そこには、連綿と受け継がれてきた文化と歴史が根ざしています。大家族で暮らすということをはじめ、日本古来の文化と生活を体験できるのが大きな特徴です。

農家民宿では、季節ごとに田植えやうど、いちご、すいか、とうもろこしなどの収穫の他、いちごジャムやビザ、梅干しづくりといった体験ができます。畜産では、えさやりのほか、タイミングが合えば子牛の誕生に立ち会えることもあります。



利根川の急流を大型ボートで下るラフティングはスリル満点。



熟練のツアーガイドに乗り方を教えてもらいながら、カヌーも楽しめる。



田んぼを使ったどろんこ遊びは、子どもたちに大人気のアクティビティ。

もう一つの楽しみは、温泉地ならではの入浴タイム。近くの温泉施設を利用して、ゆったり、のんびりとした時間を過ごせます。また、みなかみ町には昔ながらの里山の風情が残る「たくみの里」があり、各所にあるたくみの家々で、お面づくりや竹・わら・ガラス細工、陶芸をはじめとする、さまざまな伝統技法が学べます。



うどんの手打ち体験。自分で打ったうどんは、昼食でいただける。

東京から車で2時間半
豊かな自然に恵まれた町

群馬県の最北端に位置するみなかみ町は利根川の源流にあり、矢木沢・奈良俣ダムなどが首都圏の水がめとして知られます。利根川の水はもとより、山のわき水にいたるまで、きれいな水に恵まれています。

また、日本百名山の谷川岳をはじめとする2000m級の山々に囲まれた平野部には水田が広がり、水上温泉郷、月夜野・上牧温泉郷、猿ヶ京三国温泉郷と、古くから温泉地としても親しまれています。

宿泊者の希望に合わせ
体験できる内容が豊富

みなかみ町は、「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れ体制整備地区であり、早くから農泊に力を入れてきました。昨年度の受け入れ人数は1万人を超え、家族単位での利用も可能です。運営は、一般社団法人みなかみ町体験旅行。常務理事の北山郁人さんによると「農業体験のほか、各種アクティビティを組み込むことも可能。気軽にお問い合わせください」とのこと。

農業体験では、季節に合わせて田植えや稲刈り、山菜採りをした

り、きゅうり、なす、ピーマン、とうもろこし、りんご、ぶどう、すいか、いちごなどの野菜や果物の収穫が体験できます。もちろん、収穫したものは農家の家族と一緒に調理をして、夕食や朝食でおいしくいただけます。

アクティビティでは、利根川の水流を使った大型ボートで川下りをするラフティングや滝を滑り降りるキャニオニング、シャワークライミングなどの川遊びが人気です。その他、パラグライダーやバンジージャンプにマウンテンバイク、冬にはスキーにスノーシューと、さまざまなアドベンチャー体験も可能です。

【群馬県】 → みなかみ町

農作業や山歩きに川遊び 伝統技法の体験もできる

農泊List
03

体験できること：田植え、稲刈り、野菜・果物の収穫、手打ちうどんづくり、もちつき、ラフティング、カヌーなど
受け入れ戸数：約130戸
問い合わせ先：みなかみ町 体験旅行
<http://www.m-tr.jp>



収穫した野菜や山菜などを使って、作り方を習いながら一緒に調理する。



布団の上げ下ろしを自分たちで行うのも農泊体験の一つ。

農泊は農業体験だけではなく 地元の人々との交流も楽しむ

受け入れ先の農家では、まるで里帰りをした家族のように温かく迎えてくれます。写真の杉木さんは、農泊の受け入れ先第一号のリーダー的存在。ご夫妻に限らず農家の方は、さまざまな体験を通して人と人が心でつながることを大切にしています。寝食をともにすることで得られる経験は貴重です。



右／杉木敬太郎、久子さんご夫妻。
上／ていねいに種まきや野菜の収穫方法を教えてくれる。

撮影／今村敏彦





温州みかんを始め、ポンカン、はっさくなど、多品種のみかんが実る上秋津では、ほぼ一年中みかんの収穫体験ができる。



収穫したみかんでジャムづくりなどの体験もできる。



宿泊・体験施設として開業した「秋津野ガルテン」。手前が宿泊棟で、奥が体験棟になっている。宿泊料は一人当たり3,700円・税込み（4名利用）から。

年間を通して温暖な気候の三方を山に囲まれた農村地

和歌山県のほぼ中央に位置する田辺市の西部にあるのが、農泊体験場所の上秋津地区です。

農業は、かんきつ栽培が中心。地形や気候の利を活かし、山の斜面にはみかん畑が広がり、平地では梅を主体にすももなどの栽培が行われています。

小学校利用の宿泊施設と農家民宿の利用が可能

上秋津は、農業の衰退は地域の衰退という考えから、地域住民の出資で農業法人の株式会社秋津野

を設立。農作物の直売所やジュース製造などを事業化してきましたが、人口増による小学校の移転計画が持ち上がりました。その校舎を地域住民が買い取り、都市と農村の交流を目指して誕生したのがグリーン・ツーリズム施設の「秋津野ガルテン」です。

施設では、お菓子・スイーツづくり体験工房「バレンシア畑」や、秋津野みかん教室「からたち」や、地元の食材を使って農村のお母さんたちがバイキング料理を提供する農家レストラン「みかん畑」などもあり、自由に過ごすことができます。

農業体験は、通年でみかん、5〜6月ごろには梅の収穫などができますが、内容は宿泊先によって異なります。



【和歌山県】→ 田辺市

校舎を利用した宿泊施設と農家でみかんと梅の収穫体験



体験できること：みかんの収穫と加工体験、梅の収穫、野菜の収穫、お菓子づくりなど
 宿泊棟：4人部屋×6、8人部屋×1
 受け入れ戸数：14戸
 問い合わせ先：秋津野ガルテン
<http://www.agarten.jp/syukuhaku/>

右／校舎を改装して利用している体験棟の内部。
 下／農家レストラン「みかん畑」。



【岩手県】→ 遠野市

民話の里で、懐かしい日本の原風景にふれる



体験できること：田植え、稲刈り、野菜の収穫と料理、乗馬、民話、郷土芸能など
 受け入れ戸数：約65戸
 問い合わせ先：遠野 山・里・暮らしネットワーク
<http://www.tonotv.com/members/yamasatonet/>

**昔ながらの生活が残る
永遠の日本のふるさと**

岩手県の中東部に位置し、周囲を山々に囲まれた遠野市は、土地に伝わる言い伝えや昔話を集めた説話集、柳田國男の『遠野物語』の舞台として知られます。

『遠野物語』に出てくるようななかやぶきの古民家など、日本の原風景がそのまま残されているのが最大の魅力。昔ながらの日本の暮らしや信仰、文化が色濃く残っていることから、「永遠の日本のふるさと」とも呼ばれています。懐かしくもあり不思議な雰囲気は、忘れていた大切な何かを思い出させてくれます。

**畑での農作業から季節料理
馬の世話など内容は豊富**

運営は、グリーン・ツーリズムによる地域の活性化を目的に設立

収穫した野菜などを使った郷土料理を囲んで、団らんのひとつ。



されたNPO法人遠野 山・里・暮らしネットワーク。もともと、遠野市では複数のグリーン・ツーリズムのグループが個別に農業体験などの提供をしていましたが、より大きな力を生み出すためにネットワーク化し、誕生しました。



新鮮な夏野菜を収穫したら、ピザやカレーにしていた。

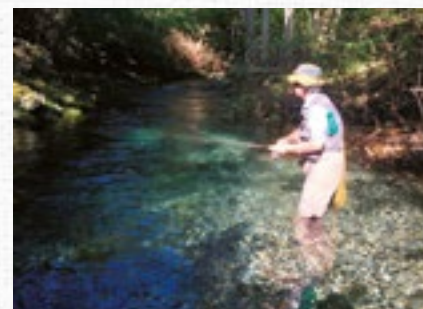
体験内容は宿泊先によって異なり、たとえば農作業では稲作や種まき、花の世話などができます。これからの季節は、夏野菜を収穫してピザやカレー、郷土料理にさせていただきます。季節の果物を使ったアイスづくりも楽しめます。

馬産地のため畜産も盛んで、えさやりなど通年で馬や牛の世話ができ、乗馬体験も可能です。

また、語りべのいる古民家で昔話や民話に耳を傾けたり、時にはお酒を酌み交わしながら、地元の人と一緒に郷土芸能の練習をする、といったメニューも用意されています。



馬にまたがり、自然の中でのんびり散歩を楽しむ馬産農家の引き馬体験。また、宿泊先によっては本格的な乗馬体験も楽しめる。



清らかな流れの溪流釣りポイントがあり、ヤマメやイワナが釣れる。